



平成会
和田 喜治

よしはる
議員

成東中学校の廃校問題について

問 私はこの問題について1年間質問をしてきましたが、考え直すという言葉聞くことが出来ませんでした。本当に情けない気持ちで一杯です。市長と私が考えることはあまりに隔たりがあるようです。一度原点に立ち返り成東中学校の廃校問題を考えてはどうか。

答 市長 私は地元ではなく別の中学校に通った立場から、成東中学校と成東中学校を公平に考えています。

問 今年度の6年生と新1年生は何人か。
答 教育部長（別表のとおり）

問 人数を聞きまして、成東中学校を廃校にするのであれば、

（別表）市内各小学校の児童数（平成29年5月1日現在）（単位：人）

	成東	大富	南郷	緑海	鳴浜	日向	睦岡
1年	49	12	44	32	22	32	30
6年	58	18	32	23	22	32	32

	山武北	山武西	蓮沼	豊岡	大平	松尾
1年	20	16	21	4	22	34
6年	18	16	29	5	25	36

市内6校の中学校は全部廃校にしなければなりません。市で一番生徒数の多い成東小学校の生徒が通う現在の中学校が無くなることなど考えられません。このことは成東地区・大富地区の方々の、関心の無さから市長の意見が通ってしまうのです。地区の方々の奮起をお願いします。

少子化対策について

問 2020年の東京オリンピック・パラリンピックの事業には、国からの補助が2億円あるようですが、人件費等を含めると、4倍の8億円が必要と予想されます。たった1、2週間程度のキャンプ地として使用するだけです。6億円のお金は市民の税金です。このお金を少子化対策に充てれば必ず人口は増えます。それは、白幡スポーツ広場の利用にあります。その広場に新婚家庭を対象にした市営住宅を建てることです。スリランカ国に対しての厚いおもてなしと同様な扱いをすれば、居住者は殺到すると思います。子供が増えることで、鳴浜小学校の生

答 市長 今お話の、子育て家庭の入居が空くころには別の方々がお住まいになれるということも、さすがに先を読んでもおられ、その様な考えはしていませんでした。ご提案を受け止めたいと思います。

成東駅裏開発について

問 前回の答弁では市長が成東町長になった以前より取り組んでこられたということで、相当難しさがある

ようですが、国からこうした高橋副市長に力をはつけていただければ道筋はつけられると思います。副市長の考えはどうか。

答 副市長 これまで様々な形で計画を練っており、組合区画整理事業として準備委員会設立など機運の高まった時期もありました。しかし、

事業採算が見込めないというところで、今日まで具体化していません。今後の社会情勢等を注視していくことが必要と考えます。

さんぶの森元気館について

問 元気館ではレジオネラ菌が発生し、レジオネラ症患者は58名ということでした。そして死者が1名出たというところで、大変な騒ぎとなりました。レジオネラ菌の数値（検体100ml中における細菌の個数）は110だそうです。市では以前、7万3千という数値が出たことがあります。広島県の数値と単純に比較すると、元気館では死者663名、患者数は3万8千454名となります。仮に死者や患者が出た場合取り返しがつかないことになります。

答 市長 この建物は素晴らしい建物ですので、延命化を図りながら、存続させていきたいと考えています。

問 レジオネラ菌が発生して、死者が出た場合の責任は、指定管理者か、市か。

答 市長 市の責任は免れないと考えます。



さんぶの森元気館